

2月26日

ベルリンからフランクフルトへ空路移動。直ちに市の南方に位置するバードフィーベルで住宅展示場視察（69棟）
カタログに載っている展示住宅は69棟。その内、木造が54棟。

既設住宅に木造が少なくないにもかかわらず環境負荷の小さい木造住宅を推奨する政府の方針に沿った結果なのか、実に展示住宅の78%が木造であった。

69棟の中から、気に入った数棟の住宅を取り上げる。



上段左：妻側のデザインがシンプルで美しい。

同 中：萱葺きの家。現在でも新築の需要があるのか？

同 右：池のある庭。池の周りから池に入って立っている石柱がいかにもヨーロッパを感じさせる。

中段左：雨樋の端末。パイプを付けずにここから雨水を直接落としてしまう。何軒かの住宅で見た。

同 中：太陽電池パネルを載せた住宅。結構大型である。

同 左：機械室。殆んどは地下に専用の部屋を設けている。ドイツでは、しっかりした設備は大型になると割り切っているのか、設備は大きい。
したがって、地下室は必須のものなのかもしれない。
熱交換換気装置がみえる。

下段右：非常に感じの良いベッドルーム。

